

# 啄木学級 文の京 講座 応募方法

定員 100名 (応募が定員を超える場合は抽選)  
(うち文京区在住・在勤・在学者 70名)

受講料 無料

締切日 6月22日(水)消印有効

往復ハガキ(一人1枚)に必要な事項(記入例参照)をご記入の上  
で応募ください(文京区在勤・在学の方はその旨を記載)。  
※電話・FAX・E-mail等での応募はできません。  
※結果発表は返信ハガキの発送をもって代えさせていただきます。

申込先 〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目1-10  
(公財)盛岡観光コンベンション協会「啄木学級」係

## 往復はがき記入例

郵便往復はがき

63 日本郵便 NI PPN

⑤郵便番号

⑦氏名

⑥住所

①「啄木学級」申込  
②郵便番号・住所  
③氏名(ふりがな)  
④電話番号

返信用宛名にご自身の住所・氏名の記入をお忘れなく!!

郵便往復はがき

63 日本郵便 NI PPN

020 0871

盛岡市中ノ橋通一丁目1-10

盛岡観光コンベンション協会  
「啄木学級」係

※ここには何も書かないでください。

## 石川啄木 本名 石川 一(はじめ)

1886年(明治19年)2月20日、南岩手郡日戸村(現・岩手県盛岡市)の常光寺で生まれ、翌年、寺の住職である父親に伴い、浜民村(現・盛岡市浜民)の宝徳寺に移り住む。1902年、盛岡中学校を中退して上京し、小日向台町(現・文京区音羽)に下宿。与謝野鉄幹・晶子夫妻から文学の指導を受ける。病を得て故郷へ戻り、1904年、詩集刊行を目的に上京。向ヶ丘弥生町(現・文京区弥生)に居留し、翌年、処女詩集『あこがれ』を出版。同年、盛岡市に戻り、新婚生活を営みながら、文芸雑誌『小天地』を発行。1906年、浜民尋常高等小学校の代用教員となるが、教師生活を1年間で終え、翌年5月、北海道へ渡る。各地を漂泊のち、新たな文学活動の展開を願い、1908年4月に上京し、同郷の先輩・金田一京助を頼りに、菊坂町の赤心館、その後、森川町の蓋平館別荘(ともに現・文京区本郷)に下宿。翌年6月、家族を迎えて弓町(現・文京区本郷)の喜之床(現・新井理髪店の地)に移る。一生に二度とは帰って来ないのちの一秒を惜しみ、また、故郷への想いを短歌に表して、1910年12月、歌集『一握の砂』が出版された。自由な作風と三行書きの特徴をもつ短歌は、当時の文壇の人々を驚かせた。1912年(明治45年)4月13日、肺結核のため、久堅町(現・文京区小石川)にて26歳2か月の生涯を閉じた。2か月後、『悲しき玩具』が発行された。

## 啄木終焉の地歌碑と顕彰室(文京区)



石川啄木が生涯を閉じた文京区小石川5丁目に、2015年3月、啄木終焉の地を記念する歌碑と顕彰室が完成しました。

歌碑には、啄木の故郷・盛岡市の姫神山で採掘された花崗岩(姫神小桜)が使われ、啄木が最後に詠んだ2首の歌が直筆原稿から複製で再現されています。

また、歌碑に隣接する介護施設内に設けられた顕彰室には、石川啄木記念館(盛岡市)提供の写真や年表、直筆原稿や書簡のレプリカなどが展示されています。

開室時間 9:00~17:00(年末年始、特別開室時を除く)

所在地 東京都文京区小石川5-11-8

交通 東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩7分

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/spot/ato/kensyousitu.html>

### 「盛岡デー・イン・東京」イベント案内

会期:令和4年7月7日(木)~7月11日(月)

内容:首都圏のみならず、盛岡の文化・観光・物産などの盛岡ブランドを紹介するとともに、食品や工芸品などの盛岡・岩手の特産品を販売します。

イベント会場:イオンスタイル板橋店

【お問い合わせ】盛岡デー実行委員会 TEL:(019)626-7538

(盛岡市役所商工労働部ものづくり推進課内)

## 石川啄木記念館(盛岡市)



貴重な直筆書簡など、300点以上の啄木ゆかりの資料を展示。人間・石川啄木の生涯を肌で感じることが出来ます。

開館 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌平日)

年末年始(12月29日~1月3日)

入館料 大人 300円(団体20名様以上は1人につき240円)

高校生 200円(団体20名様以上は1人につき160円)

小中学生 100円(団体20名様以上は1人につき80円)

〒028-4132 岩手県盛岡市浜民字浜民9

TEL 019-683-2315 FAX 019-683-3119

<http://www.mfca.jp/takuboku/>

## もりおか啄木・賢治青春館(盛岡市)



1910年(明治43年)に竣工した旧第九銀行を保存活用して、啄木と宮沢賢治が青春を育んだ盛岡の街と2人の青春時代を紹介しています。  
【国指定重要文化財】

開館 10:00~18:00(入館は17:30まで)

休館 毎月第2火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)

入館料 無料(2階展示ホールは有料の場合あり)

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-25

TEL・FAX 019-604-8900

<https://www.odette.or.jp/seishunkan/>

## 会場までの交通アクセス

- 都営地下鉄 三田線・大江戸線  
春日駅 下車 A2出口 徒歩2分
- 東京メトロ丸ノ内線・南北線  
後楽園駅 下車 5番出口 徒歩6分

例年と会場が異なります。  
ご注意ください。



※新型コロナウイルス感染症の状況により、各施設の開館時間等が変更になる場合がございますので、最新の情報は各HPにてご確認ください。